

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	つくし園		
○保護者評価実施期間	2024年12月6日		～ 2025年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○従業者評価実施期間	2024年12月6日		～ 2025年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○訪問先施設評価実施期間	2025年1月30日		～ 2025年2月28日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・併設する児童発達支援事業においての通園児の情報については把握できている。	・日頃から並行通園先を参観する機会を持ち、通園児の大きな集団での過ごしをイメージしている。	・継続して行っていく。
2	・併設する児童発達支援事業において、幼稚園・保育所においては保育所等訪問支援事業においても連携がしやすい。	・日頃から並行通園先を参観する機会を持ったり、個別の相談の場の同席などに出席するようにしている。	・引き続き、双方の事業を通じて関係機関と密な連携を図っていく。
3			

	事業所の弱み(※) と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保育所等訪問支援事業について、保護者や関係機関等に認知されていないこと。	・保育所等訪問支援事業で力を発揮できる職員の確保が難しく、積極的な周知出来ていなかったことが要因である。 ・発達支援センターの園巡回等が充実しており、園生活が充実しており、継続的な訪問が必要とされていない場合も考えられる。	・保護者や関係機関に積極的な周知していく。 ・訪問支援員として活躍できるように職員育成を行う。
2	・保育所、幼稚園以外の訪問先についての実績や経験がないこと。	・事業が認知もされていないこともあるが、実績や経験が乏しいため、訪問支援員としても消極的になりがちである。 ・発達支援センターの事業が充実している。	
3			